

「2015年ミラノ国際博覧会」日本館の展示概要

2014年11月5日

2015年ミラノ国際博覧会 日本館

「2015年ミラノ国際博覧会」の開幕に向けて 日本館の展示概要が決定

2015年5月1日から10月31日の184日間、イタリア・ミラノで開催される「2015年ミラノ国際博覧会」（以下、「ミラノ万博」）の開幕まで、残り約6ヶ月となりました。

ミラノ万博は、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、約140の国と国際機関が参加し、それぞれ魅力的なパビリオンを展開します。

日本館の出展にあたっては、農林水産省および経済産業省を幹事省、国土交通省を副幹事省、日本貿易振興機構（ジェトロ）を参加機関として、鋭意準備を進めております。

このたび、日本館の展示概要につきましてご案内申し上げます。

～“Harmonious Diversity”を巡る旅～

“Harmonious Diversity”に込められたメッセージ

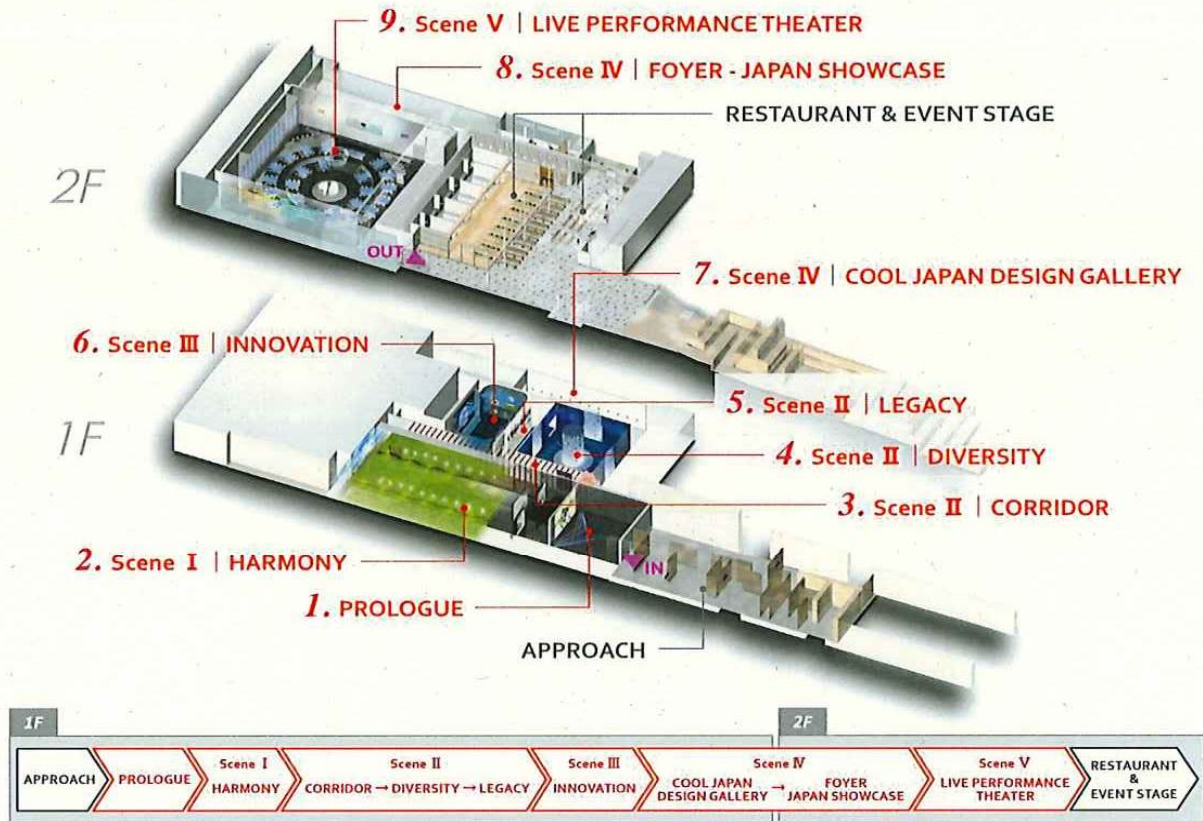
それは、自然を慈しみ、食に関わる様々な人びとを想う、感謝の気持ち

このメッセージを、産地から食卓まで、“食を巡る遥かなる旅”の体験を通して、来場者へ届けます。



「コウノトリ」をシンボルに紹介されます。

【日本館の展示構成】



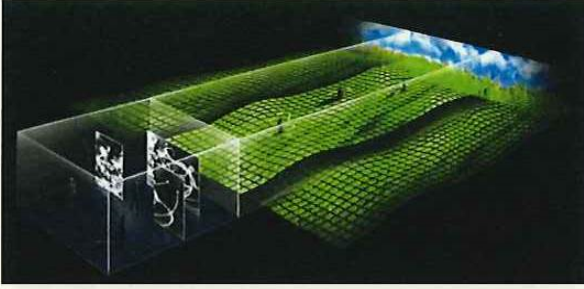
【展示メッセージ】

あらゆる生命を慈しみ、自然と共生する日本の農。
 多様な発酵食品や植物性蛋白質を中心とした一汁三菜に代表される
 栄養バランスに優れた日本の食。
 伝統と革新によって生み出され育まれた多彩な日本の食文化。
 『共存する多様性』を相互に尊重し感謝する精神を礎に、地球的課題に独創的に取り組み、
 明るい未来を切り拓く。

Scene I HARMONY

●自然と寄り添い、多様な恵みを育む日本の食の産地

多雨・多湿な気候で急峻な土地に切り拓かれた日本の水田は、水をその土地に留め、地表を水が覆うことにより、豊かな植生と生物多様性を保持する国土を生み出しました。そして、人びとはそこから食の恵みを得ると同時に、洪水や渇水など、時に災いをもたらす自然をも治めてきました。このような営みを、自然と共生する日本の農林水産業として、豊かな生態系が維持されなければ生息できない「コウノトリ」をシンボルに紹介します。



Scene I HARMONY

ハーフ・ミラーと映像装置を組み合わせた幻想的な空間により、日本の四季の田園風景に没入する五感体験を創出。



Scene II DIVERSITY

産地から食卓まで多種多彩なコンテンツが流れ落ちる“ダイバーシティの滝”。滝壺に漂うコンテンツに手を触れると、関連する様々な情報が映し出される
インタラクティブ体験を提供。



Scene II LEGACY

日本食に込められた伝統の知恵と技が凝縮されるショーケース。「一汁三菜」など栄養バランスに優れた日本の食生活もグラフィカルに紹介。



Scene III INNOVATION

現代の地球が抱える様々な問題を可視化し、課題解決に向けた日本の最先端の技術開発や国際貢献の取り組みを、未来ビジョンと共に紹介するフューチャー・ラボ空間。



Scene V LIVE PERFORMANCE THEATER

未来のレストランで展開されるライブ・パフォーマンスショー。観客が囲むメディアテーブルのインタラクションとキャストのパフォーマンス、大型映像空間演出により、一体感のあるショーを展開。世界の人々の思いがつながり、笑顔となって喜びを分かち合う、ダイナミックな参加型エンタテインメント・シアター。